

医師が1人減となったことによる収益への影響は、入院患者数の増加を図ることや、院内での経費削減など一層の経営努力が必要と考えている。

問 管理体制について。

答 社会福祉法人旭川荘に管理委託しているが、運営形態や医師確保の問題など重要事項を中心に、必要に応じ連絡協議をしながら進めている。

新聞等で報道された穿刺器具事故は、十分な調査を行い、該当者に対して個別にお詫びと説明を行い、希望者に対しては無料で検査を受けていただくことにしている。今後このようなことがないように、十分に注意して医療器具等の取り扱いをするよう指導を徹底したい。

## 横山 二郎 議員

問 鬼北町民会館の洋式トイレ設置について。

答 特に高齢者の方々にとっては、洋式トイレの利便性も指摘されているので、改善に向けて検討したい。

問 等妙寺旧境内の今後の取組みについて。

答 平成20年度から平成21年度にかけて、国の補助をうけて、保存管理計画を策定することとしている。

る。この計画は、今後史跡を適正に保存管理していくための基本方針を定めるものであり、文化庁の指導の下、地域住民の方々や専門家の意見を集約しながら、町民の憩いの場、学習の場として史跡を活用しながら、後世に伝えていくような計画を取りまとめていく所存である。

本年度は、国の史跡となった等妙寺旧境内を広く町内外へ周知するため、中世山岳寺院研究家を招き、記念講演の開催を計画している。また、学習会や現地説明会等も随時実施し、この遺跡が国史跡となった全国的に貴重な遺跡としての評価について、広く啓発したい。

問 学校のプール指導と安全管理について。

答 過去の事故例などを教訓として、安全管理、教職員等の指導力向上と事故防止の徹底を図るため、教職員や保護者を対象とした講習会や各種実技研修会を開催している。学校の授業における水泳指導は、①施設・設備の安全点検の徹底②児童・生徒の健康管理の徹底③プール使用上の注意事項の徹底④複数教員による監視体制の徹底—などにより、安全第一の考え方で指導を行っている。

夏休み中の安全指導・監視体制は、プール管理担当者が、機械の

作動確認や塩素濃度の測定などの水質管理を毎日行うこととし、夏休み中のプール使用の決まりを児童に配布して安全指導の徹底を行うほか、PTA会員による複数人数での監視を行うこととしている。

問 ひょうたんプールの安全確認について。

答 国と県の指導により、平成19年度に排水口の蓋と排水口をステンレスのバーで押さえ、そのバーをボルトで締めつけて、吸い込み事故防止の措置を行っており、安全の確保はできていると考えている。

問 成川地区プールについて。

答 地元管理のプールであるため、安全衛生等の問い合わせがあれば、その都度指導をしたい。

問 安全通学のための路側白線の設置について。

答 現在、道路予算は、路肩や山留等の危険箇所を優先的に改修せざるを得ない状況にあり、路側線までは手が回らないのが現状である。しかし、交通量が多く児童等の通行も多い場所は、交通安全の見地から必要と考えているので、道路維持費もしくは交通安全対策費の予算の範囲内で対処したい。

問 ニュータウン鬼北の里への町産材活用について。

答 鬼北町の林業振興と宅地分譲

支援策として、鬼北町産材を利用した場合に補助を行う鬼北町産材利用促進制度を制定している。

問 興野々橋の老朽化の対応について。

答 現在築86年が経過し、けたの一部で鉄筋が露出するなど老朽化が目立つようになり、今回重量制限を2トンとした。重量制限の看板は、愛媛県公安委員会が設置することとなっているが、設置までに時間を要するため、建設課で仮の看板を設置した。最近、表示が見えにくくなっていたので、降雨、強風でも耐えられるものに設置替えをした。手すりは、モルタル等にて早期に補修したい。

問 興野々橋以外の危険橋の対応について。

答 町内でこのような通行制限を行っている橋は、久保清詰線の三島橋と川口線の広瀬橋1号橋がある。三島橋は、当初から計画重量が4トンとなっている。破損している国道側の看板は、早期に修繕したい。広瀬橋1号橋は、60m下流に新しく広瀬橋がかかっており、現在は歩道橋として利用している。支障はないと考えている。

その他の橋は、当初の機能以下での重量制限は行っていない。